



社協さって市

みんなにやさしいまちづくり

幸手市社協では、このような事業をおこなっています。

地域の福祉活動に関すること



ふれあい・いきいきサロン活動の支援



調理が困難になられた方へお弁当を配達



子どもが誕生した世帯へ赤ちゃん用品券を贈呈



金婚(結婚50年)を迎えるご夫婦へ記念品を贈呈



車椅子同乗車両・車椅子・介護用ベッドの貸出



災害に関すること



大規模災害が発生した際に、必要なボランティア活動が行えるよう、事前に登録している災害ボランティアを対象に、災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練や研修を計画しています。



ボランティア活動に関すること



ひとり暮らしの高齢者と電話を通して交流



音訳朗読講習会の開催

発行

社会福祉法人幸手市社会福祉協議会
〒340-0152 幸手市大字天神島1030番地1
幸手市保健福祉総合センター ウェルス幸手内
☎43-3277 ☎40-1460
<http://www.satte-syakyo.or.jp>

社協では生活にお困りの方の相談をお受けしています。
詳細については、6ページをご覧ください。



就任のごあいさつ

住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせる 地域共生社会の実現をめざして

会長 木村 純夫



この度、幸手市社会福祉協議会役員改選に伴い、理事の皆様のご推挙とご賛同を賜りまして、引き続き会長という要職を拝命いたしました。

これまでの経験を活かし、地域福祉の更なる充実と発展のために、その職責を全うするよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、私たちが暮らす幸手市におきましては、少子高齢化や地域のつながりの希薄化、生活の困窮や多重問題に苦しむ世帯、そして災害など、家族間で解決することが難しく既存の制度や枠組みでも対応できない課題がございます。

また、現在は、感染拡大が続いている新型コロナウイルス感染症の影響によって、市民の皆様は、いわゆる「新しい生活様式」を取り入れた活動を行っていることと存じます。

このような新型コロナウイルス感染症対策を含め、様々な課題に対して、当協議会では、市民の皆様一人ひとりが「我が事」として、分野や世代にかかわらず「丸ごと」つながることで支え合い、安心して暮らせる「地域共生社会」の実現をめざしてまいります。そのために、地域の皆様と協働し、関係機関や関係団体との連携を図りながら民間団体としての柔軟性を活かした事業を展開してまいりたいと考えております。

今後とも「地域共生社会」の実現のために努力を重ねてまいりますので、関係機関や関係団体、ボランティア、企業、そしてたくさんの会員の皆様のご理解ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

幸手市社会福祉協議会 役員及び評議員のご紹介

役員

- ◆理事 10名
- ◆監事 2名
- ◆任期 令和5年度定時評議員会の終結の時まで

役職名	氏名	選出区分
会長	木村 純夫	行政関係者
副会長	松田 光男	自治連合会
理事	倉持 昭夫	民生委員・児童委員協議会
〃	栗嶋 隆夫	ボランティア
〃	森 泉 美江子	連合婦人会
〃	秋谷 清	社会福祉団体
〃	荒木 英明	社会福祉施設
〃	梨本 松男	商工会
〃	中尾 浩通	教育関係者
常務理事	丸山 洋之	社会福祉団体
監事	松澤 美貴子	学識経験者
〃	藤沼 誠一	〃

評議員

- ◆評議員 20名
- ◆任期 令和7年度定時評議員会の終結の時まで

氏名	選出区分
出井 保信	自治連合会
山下 治郎	〃
大久保 順一	商工会
渡辺 光浩	〃
福元 恒夫	民生委員・児童委員協議会
菅澤 昭子	〃
荒井 昭一	〃
大澤 まさ江	社会福祉施設
小澤 富美江	ボランティア
増田 幹男	遺族会
小森谷 進	人権擁護委員
瀬川 裕史	医師会
川島 正晴	小・中学校代表
小松原 孔明	ロータリークラブ
前田 貴敏	青年会議所
張山 優子	市子ども会育成連絡協議会
中村 孝子	市文化団体連合会
巻島 功司	シルバー人材センター
今井 康隆	幼稚園代表
小林 秀樹	福祉行政関係者

令和
2年度

事業報告・決算

【主な事業】

1 地域の福祉活動に関すること

- ふれあい・いきいきサロン活動の支援
事業費：634,200円、市内23サロンへ助成
- 福祉機器(ベッド・車椅子)の貸出
事業費：424,468円
電動・手動ベッド貸出 利用者：49人
車椅子貸出 利用者：197人
- 車椅子同乗車両の貸出(幸手市補助事業)
事業費：253,565円
登録者数：26人、利用回数：52回
- 調理が困難になられた方へお弁当を配達
事業費：258,702円、実施回数：18回
- 金婚（結婚50年）を迎えるご夫婦へ記念品を贈呈
事業費：231,770円、55組のご夫婦へ贈呈
- 在宅介護者手当を受給している介護者の交流
事業費：61,228円、参加者数：11人
- 小・中学校の福祉教育の推進
事業費：132,741円、福祉協力校：八代小、東中
- 子どもが誕生した世帯へ赤ちゃん用品券を贈呈
事業費：76,000円、申請者数：39人
- 傾聴ボランティア訪問事業
事業費：112,209円、利用者数：10人
- 子育て支援ねっとわーくへの助成 事業費：20,000円
- 団体への助成 事業費：498,550円、5団体
- ペットボトルキャップ、ベルマーク、不要入れ歯、
使用済み切手・書き損じ葉書の回収

2 ボランティア活動に関すること

- 災害ボランティア登録者を募集 登録者数：29人
- 音訳朗読ボランティア育成
事業費：54,351円、受講者数：11人
- ボランティア団体活動に助成
事業費：146,894円、活動助成団体数：12団体

【令和2年度決算】

	科目(収入名)	金額(円)	割合
①	会費収入	5,786,000	3.7%
②	寄付金収入	2,197,078	1.4%
③	補助金収入	44,076,587	28.3%
④	受託金収入	12,183,470	7.8%
⑤	事業収入(手数料・利用料等)	1,073,886	0.7%
⑥	就労支援事業収入(施設)	3,754,776	2.4%
⑦	障害福祉サービス等事業収入	81,766,958	52.5%
⑧	貸付事業収入	138,000	0.1%
⑨	その他の収入	1,838,390	1.2%
⑩	前期繰越金	3,003,092	1.9%
	収入合計	155,818,237円	

3 生活にお困りの方に関すること

- 非課税世帯への慰問金品の贈呈
事業費：1,354,837円、46件に贈呈
- 心配ごとを抱える方への相談受付
事業費：106,000円
相談件数：9件、相談人数：8人
- 生活にお困りの方の相談窓口
事業費：8,526,470円
新規相談件数：269件、延べ支援件数：493回
- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯に対し
共通商品券1万円を交付
事業費：845,166円
対象者数：108件のうち84件に交付
- 生活福祉資金の貸付(県社協受託事業)
新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した
世帯への特例貸付
緊急小口資金：貸付金額49,720千円、252件
総合支援資金：貸付金額192,360千円、359件

4 障害者自立支援施設に関すること

- さくらの里(就労継続支援B型)の管理運営
事業費：33,699,913円、
利用者数：20人
- なのはなの里(生活介護)の管理運営
事業費：49,829,699円、
利用者数：16人

5 新型コロナウイルス感染症の
感染拡大を防ぐため中止した事業

ひとり暮らし高齢者日帰りバス旅行、彩の国ボランティア体験プログラム事業、さくらの里宿泊研修、手話講習会(入門・レベルアップ)、小・中学生ボランティア活動作品募集、幸手市敬老会、グラウンド・ゴルフ プラチナ大会、幸手市健康福祉まつり 他

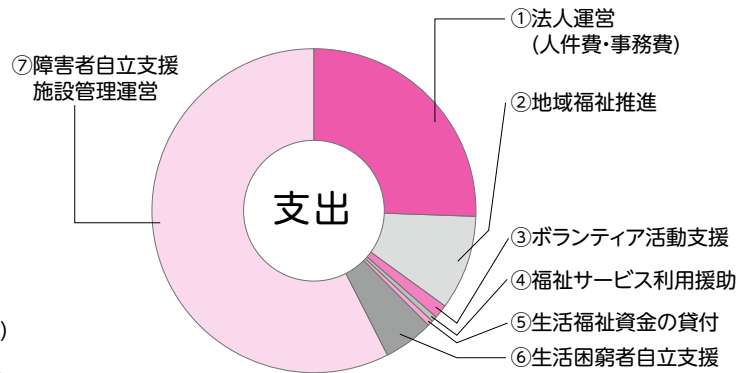
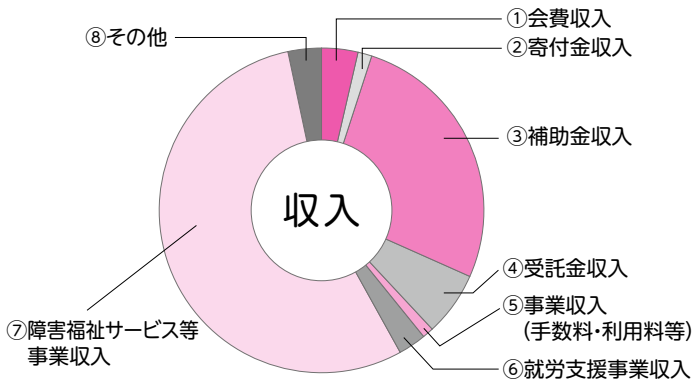
	サービス区分(事業名)	金額(円)	割合
①	法人運営(人件費・事務費)	38,604,241	26.4%
②	地域福祉推進	7,949,863	5.4%
③	ボランティア活動支援	227,922	0.2%
④	福祉サービス利用援助	1,152,278	0.8%
⑤	生活福祉資金の貸付	2,546,094	1.7%
⑥	生活困窮者自立支援	8,526,470	5.8%
⑦	障害者自立支援施設管理運営	87,284,388	59.7%
	支出合計	146,291,256円	

※当期末支払資金残高(収支差額)9,526,981円は、令和3年度に繰越します。

【重点推進事項（抜粋）】

- ①新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯や生活の維持が難しい困窮世帯の自立に向け、個々の状況に応じたきめ細かい支援を行います。
- ②判断能力の不十分な人が住み慣れた地域で自立した生活を送れるように、福祉サービスを利用する際の援助や日常的な金銭管理等を行います。
- ③災害時における社協の役割を明確にし、関係機関や災害ボランティア登録者との連携に努めます。また、災害ボランティア登録の充実及び災害ボランティアに対する意識の向上や体制の強化を図ります。
- ④令和3年度から5年間、幸手市から幸手市障害者自立支援施設の指定管理を受託します。利用者一人ひとりに合ったより良い支援の充実を図ります。
- ⑤地域福祉活動に必要な自主財源（会費・共同募金・寄付金）を確保するため、皆様の協力が得られるよう社協PR活動の充実努めます。

令和3年度予算総額 1億7,204万4,000円



科目(収入名)	金額(千円)	割合
① 会費収入	6,280	3.7%
② 寄付金収入	2,000	1.2%
③ 補助金収入	42,951	25.0%
④ 受託金収入	11,957	6.9%
⑤ 事業収入(手数料・利用料等)	1,759	1.0%
⑥ 就労支援事業収入	4,900	2.8%
⑦ 障害福祉サービス等事業収入	93,789	54.5%
⑧ その他	8,408	4.9%

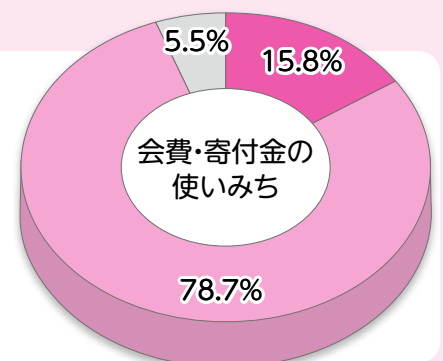
サービス区分(事業名)	金額(千円)	割合
① 法人運営(人件費・事務費)	44,339	25.8%
② 地域福祉推進	16,038	9.3%
③ ボランティア活動支援	2,381	1.4%
④ 福祉サービス利用援助	1,174	0.7%
⑤ 生活福祉資金の貸付	594	0.3%
⑥ 生活困窮者自立支援	8,829	5.1%
⑦ 障害者自立支援施設管理運営	98,689	57.4%

※事業計画・予算及び事業報告・決算については、詳細をホームページからご覧になることができます。

社会福祉協議会会費・寄付金の使いみち

皆様からご協力いただいた会費・寄付金は、地域福祉のまちづくりを推進するため、さまざまな事業を通じて市民の皆様へ還元されています。

- 法人運営のために
(事務経費、役員会、会員募集など)
- 地域福祉活動のために
(ふれあい・いきいきサロン活動の支援、車椅子・介護用ベッド・車椅子同乗車両の貸出、ひとり暮らし高齢者日帰りバス旅行、グラウンド・ゴルフ プラチナ大会の開催、福祉活動への助成など)
- ボランティア活動支援のために
(各種ボランティア養成講習会の開催、団体活動支援など)



※職員の人件費は、市からの補助金・受託金で賄われています。

ボランティア・市民活動センターだより

令和3年度 ボランティア講習会等の予定

新型コロナウイルス感染症の動向により、講習会等が中止・延期となる場合があります。ご了承下さい。

手話講習会(レベルアップ課程)

- 期 間** 7/29～12/16 毎週木曜日 全20回
19:00～21:00 ※他予備日あり
- 会 場** 幸手市保健福祉総合センター 2階 会議室
- 対象者** 市内在住在勤及び久喜市、蓮田市、白岡市、杉戸町、宮代町に在住で、基礎課程を修了した方
- 定 員** 15名(申込順)
- 参加費** 700円(保険料他)
テキストが無い方は別途3,300円(テキスト代)
- 申込み** 7/15(木)までに(福)幸手市社会福祉協議会に電話または窓口でお申込みください。

彩の国ボランティア体験プログラム事業

- ボランティアをしてみたい、そんな皆さん朗報です！
今年、28メニューを用意しています。メニューの内容が、例年とは少し異なりますが、新規メニューもたくさんあります。
- メニューを掲載したパンフレットが、広報さつとと共に配付される他、公共施設などにも備置しています。また、社協ホームページでも検索できます。
- 7/1から募集開始です。
お待ちしております♪



令和元年度の事業の一コマ

音訳朗読講習会(初級)

市の広報紙などを録音した「声」の広報紙を、目が不自由な方にお届けするための音訳朗読の基本、朗読データのデジタル編集方法などを学びます。

- 期 間** 10/11～12/13 毎週月曜日 全6回
13:30～15:30 ※予備日含む
- 会 場** 幸手市保健福祉総合センター 2階 会議室
- 申込み** 9月から募集開始予定。詳細は広報さつて9月号に掲載予定の他、同時期に公共施設等にチラシを備置く予定。

やさしい手話講習会(入門課程)

- 期 間** 7/8～R4/1/13 毎週木曜日 全21回
10:00～正午 ※予備日含む
- 会 場** 幸手市保健福祉総合センター 2階 会議室
- 対象者** 幸手市在住在勤及び、久喜市、蓮田市、白岡市、杉戸町、宮代町に在住の方
- 定 員** 15名(申込順)
- 参加費** 4,000円(テキスト代他)

募集終了、
まもなく開講!



登録団体紹介コーナー

ボランティア・市民活動センターに登録している団体を紹介します!

Vol.6 幸手婦人会

一緒に活動
しませんか?



フォークダンスの練習の様子(上下)



【活動日時・場所】
勤労福祉会館
毎週金曜日 午前10時～正午

【活動者の声】

- ・時と共に、踊りは変化していますが、年齢などに関係なく踊ることが出来ます。
- ・仲間が親切で楽しく続けています。
- ・自分の健康のためにもありますが、良い仲間がいるので続けられています。
- ・フォークダンスが良い気分転換になっています。また、ボランティア活動という社会経験は、より一層の自分への自信に繋がります、続けてきてよかったと思っています。

幸手婦人は、昭和25年4月から活動している伝統のある団体です。地域に根差した婦人会として「組織力を持つて健全な社会づくりのための貢献」に力を注ぎ、積極的に地域活動及びボランティア活動に取り組みられています。内部には6つのサークルがあり、その中の一つである「フォークダンス部」は、病院や高齢者施設などを訪問し、踊りを通して施設の利用者とコミュニケーションをとり親睦を深めています。

生活にお困りの方へ…

幸手市生活自立支援センター のご案内

幸手市生活自立支援センターとは？

経済的な問題で生活にお困りの方の相談窓口です。

ご本人の抱えている問題をお聞きし、解決の方法を一緒に考え、「自立」に向けて支援します。

お気軽にご相談ください。

事業内容

自立相談支援

「収入が少なく、生活が不安」、「家族がひきこもっていて、将来が心配」等、生活でのさまざまな悩みを抱えている方の相談をお受けしています。相談支援員がお気持ちに寄り添ってどうすればよいか一緒に考え、必要に応じて他の専門機関と連携して解決に向けたプランを作成し、自立のための継続的な支援を行います。

住居確保給付金

離職ややむをえない休業等により住居を失った、またはその恐れのある方に対し、家賃の心配をせず、就職活動に専念できるよう家賃相当額(上限あり)を支援するための申請受付と相談を行っています。

収入より
支出が多い



どこに相談すれば
いいかわからない



家賃を
滞納している



なかなか仕事が
決まらない



相談の流れ

ステップ1

あなたの不安や、悩みを聞かせてください。一緒に整理しましょう。

ステップ2

問題の解決に向け、一緒に計画を立てましょう。

ステップ3

計画に沿った支援を行います。

ステップ4

不安が解消されれば支援終了となります。その後も一定期間、相談支援員が状況の確認を行います。

生活の不安や心配なことをご相談ください。

相談は無料です。秘密は厳守します。

お知らせ・募集・掲示版

7

(福)幸手市社会福祉協議会の 事業について

今年度、予定しております次の事業について、新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、現在実施の可否や実施時期の検討しております。

何とぞご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

1	第40回幸手市健康福祉まつり
2	幸手市敬老会
3	ひとり暮らし高齢者日帰りバス旅行
4	グラウンド・ゴルフ プラチナ大会

金婚を迎えられるご夫婦へ —結婚50年の記念に—

金婚を迎えるご夫婦へ記念品を差し上げます。

◆**対象者** 社協の会員で、申請時において結婚(婚姻の届出をした日から)50年以上になる夫婦で前年までに金婚のお祝いを受けていない方

※再婚の場合は、再婚してから50年以上の夫婦となります。

◆**申込み** 婚姻年月日のわかる戸籍謄本または抄本を1通持参のうえ、社協窓口へ



ボランティア相談

ボランティアを必要としている方、活動に参加したい方の相談をお受けいたします。

◆**相談日** 月曜日～金曜日(祝日は除く)

◆**時間** 午前8時30分～午後4時

◆**場所** ボランティア・市民活動センター

※電話相談もお受けします。

(社協内)



小・中学生ボランティア活動作品募集

小・中学生の福祉への理解と関心を高めるとともに、作品を通じて地域社会への福祉啓発を図ります。

◆**募集期間** 7月22日(木)～8月31日(火)

◆**募集対象** 市内在住の小学5・6年生と中学1・2年生

◆**応募方法** 学校経由、郵送またはメール、直接持参可

◆**選考方法** 本会(選考会)で審査を行い、最優秀賞、優秀賞を選考します。

◆**入選結果発表及び表彰**

健康福祉まつりにて表彰式を行います。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となることがあります。入選者には、賞状と図書券を贈呈します。また、12月1日発行予定の「社協さつて市」に掲載します。

◆**その他** 作品の応募は、一人1点を限度とします。詳細については、ホームページをご覧ください。

※入選作品はボランティア活動の推進、啓発のための広報資材として活用させていただきます。

赤ちゃん用品券配付のご案内

赤ちゃんが生まれた世帯に、用品券を差し上げます。

◆**配付対象** 市内在住の社協会員世帯で、子どもを出産してから満1歳を迎えるまでの世帯

◆**申込み** 母子健康手帳(市町村長の出生届出済証明印があるもの)及び印鑑を持参のうえ、社協窓口へ

◆**配付内容** 2,000円分の用品券



心配ごと相談

日常生活の中で悩みごと・心配ごと等1日でも早く解決できるよう相談に応じます。

◆**相談日** 毎月第2・第4木曜日(祝日は除く)

◆**時間** 午後1時～午後4時

◆**場所** 幸手市社会福祉協議会

※予約はいりません。電話相談もお受けします。

令和3年度(福)幸手市社会福祉協議会

会員加入のお願い



幸手市社会福祉協議会では、住み慣れた地域で、誰もが安心して暮らせる「福祉のまちづくり」を目指して活動しております。

皆様からご協力いただいた「会費」は、さまざまな事業を実施するための貴重な財源として活用させていただきます。

社会福祉協議会(通称:社協)は、社会福祉法に基づきすべての都道府県・市町村ごとに設置され、地域の福祉推進を図ることを目的として、さまざまな活動を行っている非営利の民間組織です。



会員の種類と会費(年額)

一般会員	500円
協力会員	1,000円
特別会員	5,000円以上

募 集 方 法

7月・8月を会員募集の推進期間とし、自治会等を通して加入のお願いをしております。また、年間をとおして社協の窓口でもお受けしております。(ご連絡をいただければ、社協職員が直接お伺いします。)

皆様のご協力、どうぞよろしく申し上げます。

(福)幸手市社会福祉協議会につきまして、詳しくはホームページ
[<http://www.satte-syakyo.or.jp>] をご覧ください。



表紙に皆様からいただいた社協会費で行なっている事業の一部を掲載しております。